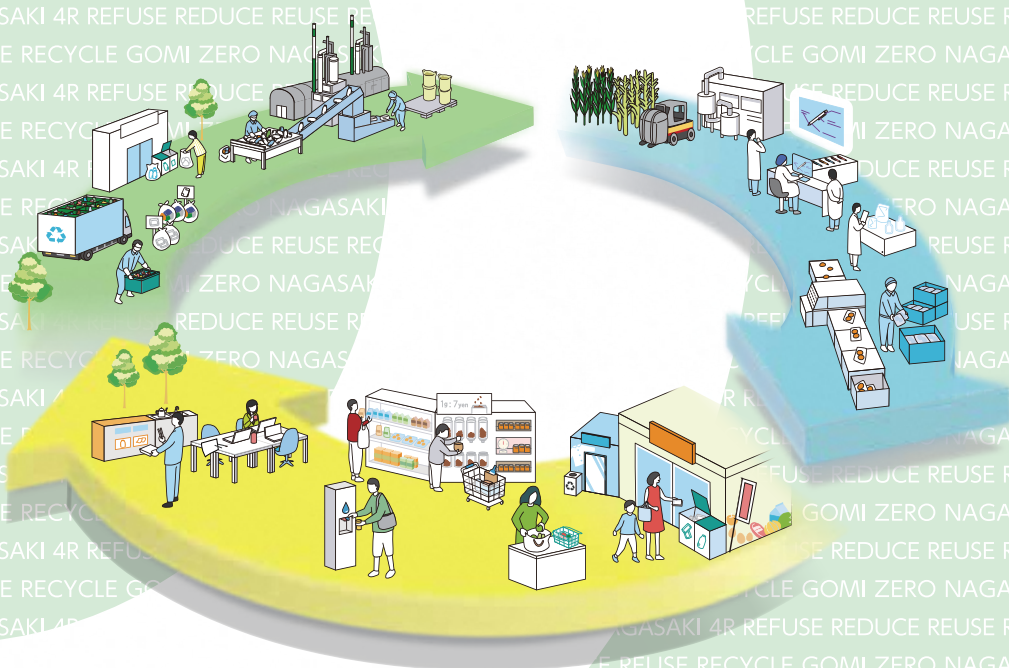


企業の皆さまへ

～はじめよう！今日からはじめるプラスチックごみ削減～

プラスチックは えらんで、減らして、リサイクル



はじめに

- プラスチックは非常に便利な素材ですが、海に流れ着いたレジ袋や捨てられた釣り糸などのプラスチックによる海洋汚染が世界的な問題となっており、特に5mm以下のマイクロプラスチックによる生態系への影響が懸念されています。
- この冊子では、プラスチックごみの発生抑制、リサイクルのために、企業の皆さまができることをご紹介します。

目次

1. プラスチックのごみ問題	: 1~3
2. ポイ捨てされたごみはどこへ?	: 3~4
3. 長崎県の取組 (4R)	: 5
4. 長崎プラスチック4R宣言事業所募集	: 6~7
5. 企業の取組紹介	: 8~11
6. プラスチック削減チェックリスト	: 12

1. プラスチックのごみ問題



海の中のプラスチック

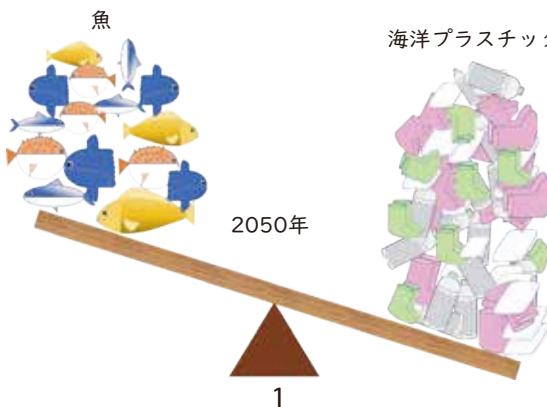
海の中のプラスチック「海洋プラスチック」が世界的な環境問題となっています。しかも、その約80%がポイ捨てなどによって、陸地から河川を通して、海に流れ出たものと言われています。世界の海洋プラスチックの量は、1億5千万トン。さらに毎年、800万トン以上が海に流れ込んでいると言われています。

海岸に漂着するごみは、海洋プラスチック全体のごくわずかで、ほとんどが海中にただよるか、海底に沈むかしており、2050年には海洋プラスチックの量が、魚の量を超えると言われています。

長崎県の海岸にもプラスチックを含むたくさんの漂着ごみが発生しています。



長崎県に漂着したごみ



1. プラスチックのごみ問題

にゃんとか
せんぱい

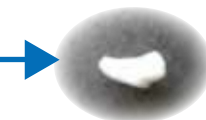


マイクロプラスチック

マイクロプラスチックとは、5mm以下のとても小さなプラスチックのことです。太陽の光で劣化するなどした海洋プラスチックが、細くなってマイクロプラスチックとなります。マイクロプラスチックは、分解されることなく、海や浜にたまり続けます。長崎県の砂浜でもマイクロプラスチックは見つっています。



長崎県の調査の様子



マイクロプラスチック

産業や生き物への影響

プラスチックは、微生物などで分解されにくく、観光業や漁業などに大きな影響がでます。鳥や海の生き物の体にプラスチックごみが巻き付いたり、食べ物と間違えて食べて胃の中がプラスチックでいっぱいになり、栄養が取れなくなって死んだりすることがあります。マイクロプラスチックを小さな魚がプランクトンと間違えて食べ、大きな魚がその魚を食べることで蓄積されることにより、生態系全体や人体への影響が懸念されています。



出典：
長崎県資源循環推進課発行
「プラスチックが海を汚染
してるって本当？」
(令和3年12月)

1. プラスチックのごみ問題



バイオプラスチックへの転換、発生抑制・リサイクルの推進

日本は、国内での適正処理・3Rを率先し、国際貢献も実施している一方、プラスチックの主な原料である石油の99.7%を外国から輸入しているほか、廃プラスチック有効利用率の低さが課題となっており、化石燃料由来プラスチックを代替する省CO₂型バイオプラスチック等(再生可能資源)への転換が求められています。

また、これまで多くの廃プラスチックを海外に資源として輸出していましたが、アジア諸国において禁輸措置が実施され、国内での廃プラスチックの適正な処理が必要です。今後は、発生抑制やリサイクルなど持続可能な取組が重要となります。

2. ポイ捨てされたごみはどこへ?



街や山でポイ捨てされたものや風で飛ばされたものも、川をたどり、最終的には海へ流れ着きます。



出典：
長崎県資源循環推進課発行
「プラスチックが海を汚染
してるって本当？」
(令和3年12月)

2. ポイ捨てされたごみはどこへ？

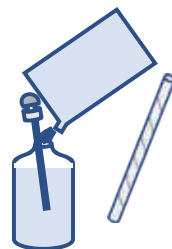


出典：長崎県資源循環推進課発行「プラスチックが海を汚染してるって本当？」（令和3年12月）

国の方針

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が令和4年4月1日に施行され、捨てることを前提とせず、大切な資源の循環を促進するための法律が整備されました。日本は、ワンウェイ（一度しか使われない）プラスチックの一人当たりの廃棄量が世界で2番目に多いと言われています。また、未利用のプラスチックが2017年で128万トンあり、うち76万トンが焼却、52万トンが埋め立てられているので、以下のことを基本原則としています。

- ワンウェイの製品など無駄に使われる資源を徹底的に減らす。
- プラスチック製のものを代替可能な材質に変える。
- 作られたプラスチック製品はできる限り長期間使用する。
- 使用後のプラスチック製品は、分別をきちんとして、リサイクルなどの循環利用をする。



紙ストロー

3. 長崎県の実践 (4R)

にゃんとか
せんは。



長崎県では、全国的に推進されている3R (Reduce, Reuse, Recycle) に
リデュース リユース リサイクル
リフューズ
Refuseを加えた4Rを推進しています。



● Refuse (リフューズ: 断る)

使い捨て (ワンウェイ) プラスチック商品 (スプーン・ストローなど) は断る、提供しない。マイバッグ、マイボトルを使用する。

● Reduce (リデュース: 減らす)

ものを大切にし、ごみとして出すものを減らす。壊れにくく長持ちする商品を選ぶ。

● Reuse (リユース: 再使用する)

まだ使えるものを、そのままの形でくりかえし使う。

● Recycle (リサイクル: 再生利用する)

資源として再生可能なごみを一度処理し、原材料として新しいものに作りかえて再び利用する。



4. 長崎プラスチック4R宣言事業所



長崎県では、従業員にマイボトルの持参などプラスチックごみの削減に取り組む「長崎プラスチック4R宣言事業所」を募集しています。プラスチックごみの発生抑制及びリサイクルに取り組みませんか？

宣言登録した事業所には、4R宣言事業所登録証と啓発資材を配布します！



県が定めた取組内容

1. 従業員やお客様にマイバッグの積極的な利用を呼び掛ける
2. 従業員にマイボトル等の持参を呼びかけ、プラスチック製品の使用を削減する
3. スプーン、ストローなどの使い捨てプラスチック製品のお客様への提供を減らす
4. 従業員やお客様のプラスチックごみは、分別し、リサイクルを徹底する
5. 従業員に外で出たプラスチックごみは、散乱防止のために持ち帰りを呼び掛ける
6. プラスチック製の梱包材やプラスチック製容器包装を減らす
7. プラスチック製品の材料を紙などの代替素材又は、生分解性の材料に変更する
8. 事務所等で使うプラスチック製品は、長く使用できるものを選択して調達する
9. 事務所等で使うプラスチック製品は、リサイクル製品を選択して調達する
10. 事業所において、行われた業務（製造工程等）で排出されたプラスチックの端材等のリサイクルを行う
11. プラスチックごみに関する研修やごみ回収イベントなどに取り組む
12. その他（各事業所での独自のプラスチックごみの削減取組）

4. 長崎プラスチック4R宣言事業所

にゃんとか
せんば。



長崎プラスチック 4R宣言事業所 登録募集

プラスチックは、非常に便利な素材ですが、海に流れ着いたレジ袋や捨てられた釣り糸などのプラスチックによる海洋汚染が世界的な問題となっています。特に5ミリ以下のマイクロプラスチックによる生態系への影響が懸念されています。

プラスチックごみの削減のために4Rに取り組みませんか？



4Rとは...

Refuse
リフューズ
断る

Reduce
リデュース
減らす

Reuse
リユース
再使用する

Recycle
リサイクル
再生利用する

の頭文字です。

SDGsに取り組む事業所として企業のイメージアップにつながります。

登録事業所は、県のホームページにてお知らせします。

宣言登録した事業所には、4R宣言事業所登録証と啓発資材を配布します。
登録証・ステッカー・卓上ポップ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



申し込み方法は簡単

県資源循環推進課のホームページから登録申込書(Word)をダウンロードして必要事項を記載し、FAXまたはメールにて資源循環推進課まで申請をお願いいたします。

【お問い合わせ＆お申し込み先】長崎県資源循環推進課
〒850-8570 長崎市尾上町3-1 / 電話 095-895-2373 / FAX 095-824-4781
メールアドレス s16100@pref.nagasaki.lg.jp



長崎県 4R宣言事業所



5. 取組紹介・株式会社 浜屋百貨店

株式会社 浜屋百貨店



企業紹介

チンチン電車の走る街、NAGASAKI。浜市アーケード街は、若者たちで賑わう長崎一のショッピングストリートです。

長崎市内唯一の百貨店の浜屋はその中心で「お客様の声に生きる店」として、地元密着の営業活動を行っております。

～4R宣言事業所登録のきっかけ・メッセージ～

浜屋百貨店では、近年の異常気象や温暖化、プラスチックごみによる海洋汚染など、地球規模の様々な社会的課題解決に向け、SDGs目標でもある持続可能な消費と生産のパターンを確保するために、お客様をはじめ、従業員、お取引先など全ての皆さまのご理解とご協力をいただき、サプライチェーン全体で、容器包装の削減に向け取り組んでおります。

1. スマートラッピングを呼び掛け、容器包装削減の取組

お客様のご理解とご協力をいただきながら、使い捨ての資源利用を見直し、紙製買物袋・プラスチック製買物袋の削減に向け、「マイバッグ持参」「まとめ入れ」を推進

2. 長崎県推進の4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)への取組

従業員施設でのゴミ分別の徹底、リサイクルの推進



5. 取組紹介・株式会社 浜屋百貨店

プラスチック削減の取組



●ペットボトルキャップ(従業員)を回収し、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付しています



●ゴミの分別を徹底し、プラスチックごみのリサイクルを進めています



●スプーン・箸等の有料化でリフューズを推進しています

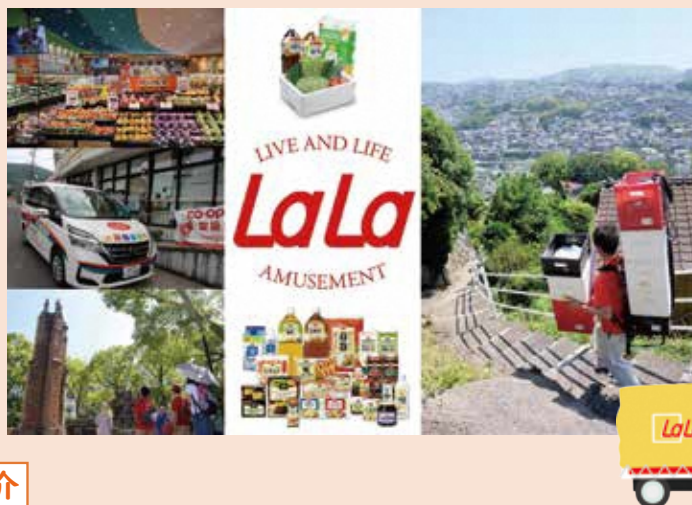


●お客様に向けてマイバッグ
持参のPRをしています

5. 取組紹介・生活協同組合ララコープ

“もっと イキイキ ひと まち 暮らし”

生活協同組合ララコープ



企業紹介

生協とは「消費生活協同組合」のこと。私たちの暮らしを安全にするため、みんなの力を出し合えば「よりよい暮らしと健康を守っていける」その願いを実現するために生協はつくられました。

「万人は一人のために一人は万人のために」を合言葉に“平和とよりよい生活のために”生協は活動を続けています。

～4R宣言事業所登録のきっかけ・メッセージ～

ララコープが「長崎プラスチック4R宣言事業所」に登録することで、世界的に問題となっているプラスチックによる海洋汚染の削減につながると考えています。私たち一人ひとりが、日常生活の中で意識を変え、行動を変えることが大切です。日頃からプラスチック製品の使用を抑制し、使用した場合はリサイクルする等の取組みを継続していきます。私たちの生活スタイルの中で4Rの取組みを意識し、未来の子供たちのために、「海の豊かさ」を守っていきましょう。



5. 取組紹介・生活協同組合ララコープ

“もっと イキイキ ひと まち 暮らし”

プラスチック削減の取組

●2020年7月からのレジ袋有料化に伴い、マイバック持参を呼びかけてきました。2019年度の持参率は40%以下でしたが、2021年度には80%以上となり、レジ袋使用数も以前と比べて、4分の1以下になりました。

	2019年度	2020年度 (～6月)	2021年度	2022年度	2023年度
マイバック持参率	36.0%	42.0%	82.3%	82.1%	83.7%
レジ袋数(万枚)	384	85	74	93	91



「購入して」の
利用を促している
**ララオリジナル
マイバスケット**



●トレイ・卵パック・集品袋・カタログ包み袋を回収し、リサイクルしています



●リサイクルステーションを設置しています



●ノントレー商品を展開しています

6. プラスチック削減チェックリスト



プラスチックごみ削減のためには、できるだけプラスチック製品を購入せず、捨てるときは「ごみ」ではなく「資源」として循環させることが大切です。自分ができる工夫からはじめましょう。



みなさまが既に取り組んでいることやこれから取り組めることにチェック！

- ☐ 買い物に行くときはマイバックを持つ！
- ☐ 外出時は、マイボトルを持参して水分補給をする！
- ☐ 提供されるワンウェイプラスチック製品は断る！
- ☐ シャンプーボトルなどのプラスチック製容器は、詰め替えパックを購入し補充する！
- ☐ ごみの分別に取り組む、外出時にポイ捨てしない！
- ☐ ごみ回収イベントに参加する！
- ☐ リサイクル製品を積極的に選ぶ！
- ☐ やむを得ずペットボトルなどを購入した場合は、きちんと分別し、資源ごみとして出す！

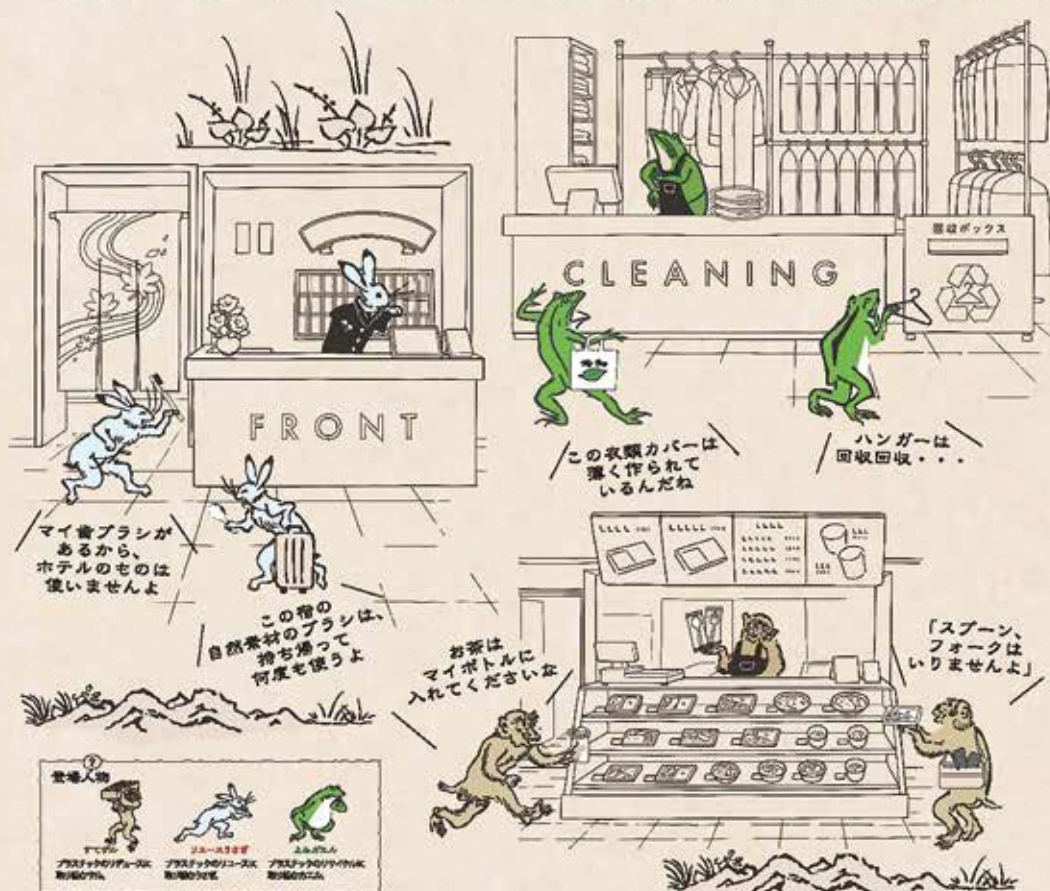
他にも取り組めることを考えてみましょう。

- ☐
- ☐
- ☐

プラスチックはもう捨てざる

ワンウェイのプラスチックの削減に向けて、
ご協力をお願いいたします。

主としてプラスチック製のスプーン、フォーク、テーブルナイフ、マドラー、飲料用ストロー、ヘアブラシ、くし、かみそり、シャワーキャップ、歯ブラシ、ハンガー、衣類用カバーが、特定プラスチック使用製品として指定され、これまで無償提供していた提供事業者は、提供方法の工夫や提供する製品の工夫が求められています。



プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が2022年4月1日から施行されました



プラスチック製品の
発生抑制・

リサイクルのため、
県民全体で4Rに
取り組みましょう。



断る



再生利用する



減らす

再使用する



プラ新法

Search



制 作 | 長崎県県民生活環境部
資源循環推進課
問合せ | 資源循環推進課内
TEL095-895-2373

